第46回コンクリート工学講演会 | A. 材料・施工 | 環境配慮型コンクリート（材料）

環境配慮型コンクリート（材料）1

座長:松元淳一(土木),中山英明(建築)
2024年6月26日(水) 15:20 ～ 17:20 第2会場 (小展示室B)

[1216]発泡スチロール骨材ポーラスコンクリートの緑化基盤材への適用に関する研究

角野嘉則[1], 荘所直哉[2] (1.明石工業高等専門学校 2.兵庫県立大学)

キーワード：発泡スチロール、鹿沼土、ポーラスコンクリート、緑化基盤材

本研究では，緑化基盤材としての利用を想定した骨材に発泡スチロールと鹿沼土を用いたポーラスコンクリートの基礎物性並びに植生試験をおこない，その適用性について実験的検討をおこなった。基礎物性として，密度，吸水率，空隙率，圧縮強度，保水量， pH試験をおこなった。その結果，発泡スチロールを骨材としたポーラスコンクリートは，圧縮強度は小さいものの，吸水性の増加と大幅な軽量化がはかられることが分かった。また，鹿沼土を混入することにより保水量が向上し，植生の生育効果に有効であることが確認された。

©公益社団法人 日本コンクリート工学会